



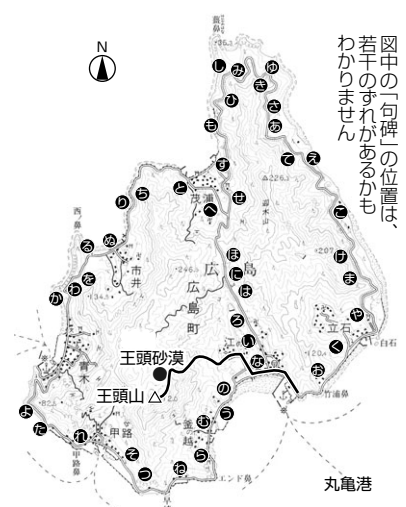
写真上(左): 広島と丸亀の玄関、江の浦港から見た王頭山、(右): ②の碑、笑顔は此の世の花
下(左): ③の碑、幸いは心の中に生れる、(右): 自然の造形美「王頭砂漠」

丸亀とウツチガ ⑱

写真・文/石井 誠一

王頭山 (おうとうざん)

石材の島に 砂漠が?



図中の「句碑」の位置は、若干のずれがあるかも知れませんが、ご了承ください。

〔国土地理院発行の5万分の1 地形図「寄島」を約58%に縮小〕

塩飽諸島の中で最も広い島、広島面積は十一・八四平方キロ、周囲十八・五キロの島である。丸亀港からフェリーで四十分、江の浦港に着く。「いろは石の島」と書かれた大きな石柱が迎えてくれる。この島西部の青木地区は、良質の花崗岩を産出し、大坂城築城の際、積み出された「青木石」の産地である。石材採掘業が盛んで、昭和五十三―五十七年に島出身の書道家藤本玄幽(正樹)による句碑四十五基が、いろは順に島を周回する道路に沿って五百メートルごとに設置された。発起人の玄幽の書法は、双筆を持つて立体的、色彩的に書く「鐘文字」と呼ばれる独創的な字体である。句碑には、人生の名言が刻まれている。

江の浦には市役所の支所とコミュニティセンター、広島小中学校、郵便局、駐在所などがあり、遠浅の砂浜は海水浴場としてにぎわう。

王頭山への登山コースは、小中学校前の道を西に進み、江の浦川を渡って、川沿いに二百五十メートル北進。消防水利施設の所を左折し、西に進むと、「ようこそ王頭山へ」の案内標識(石板)とつえ立てが迎えてくれる。七、八分、細い竹林の中を歩くと、やがて花崗岩の岩場となり、登山用のロープが設置されている。ロープにつかまると足元が滑らずに登りやすい。岩の多い尾根に出ると、まばらな松や小さな広葉樹となる。登山道が分かりにくい所は、木の枝に結ばれた赤いリボンや岩肌に書かれたペンキの矢印が道案内をしてくれる。時々足を止めて振り返ると、背後に江の浦海岸や学校が見渡せ、高度が増していることを実感できる。登山口から一時間ほど登ると「山頂迄一〇〇M」地点のすぐ右に、表層土が流失し、植物の育たない「王頭砂漠」と呼ばれる砂地が広がる。白い砂の山肌巨岩の重なる自然の造形美に、しばしば別世界に浸ることができる。

山頂の二等三角点(三二二・〇)まで十分足らずだが、眺望はあまりよくない。少し西に回ると採石場の多い心経山を見ることが出来る。

猪熊ギャラリー

明るい集落 1986年作
アクリル・カンヴァス

ハワイで制作した「集落」や「都市」といった単語が含まれる題名の作品では、猪熊が考え出した様々な形が画面に集合し、一つの構成を成しています。



この夏、うどんはUDONになる——
映画「UDON」の公開が、八月二十六

日(土)に迫っています▽丸亀出身の本広克行監督がふるさとを中心にロケを行い、出演者は個性派&実力派の役者がそろい踏み。うどんの良さだけでなく、温かい人間模様も描くこの作品、一見の価値ありなのは? うどん好きの自分ですが、何より好きな役者さんばかりが出ていますので早々に見に行くつもりです。(桐)

●この広報紙は、四国新聞販売所に委託し、市内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、同社 ☎0120-494459までご連絡ください。